

会議録

会議の名称	平成28年度第1回加東市児童館運営委員会
開催日時	平成28年7月11日(月) 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	加東市役所 302会議室
<p>議長の氏名 (委員長 鈴木正敏)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】 5人</p> <p>鈴木正敏委員 藤原さおり委員 片岡 愛委員</p> <p>神戸成企委員 柴崎哲矢委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>無し</p>	
<p>1 出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>福祉部長 丸山芳泰</p> <p>子育て支援課長 山本京子</p> <p>子育て支援課主査 藤田 研</p> <p>児童館長 依藤洋子</p> <p>2 議題及び会議結果</p> <p>議事(1) 平成27年度事業の実績について</p> <p>事務局が、資料①から④に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>議事(2) 平成28年度事業の実施計画について</p> <p>事務局が、資料⑤から⑧に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>議事(3) その他</p> <p>事務局が別紙に基づいて、東条鯉こいランド機能移設等について説明し、各委員からご意見をいただきました。</p>	

3 会議の経過

【開会】

- ・あいさつ（福祉部長）
- ・資料確認

【議事】

議事（１）平成２７年度事業の実績について

事務局から説明後、質疑応答。

（委員）

社児童館の利用者伸び率が上昇しているのに対して、滝野児童館と東条鯉こいランドの伸びが鈍い。立地的な条件があるのだろうが、社児童館は他館と比べて、中学生の利用者が多い。これは中学生が小さい子どもとのかかわりを持つために、児童館に行っているのか、自分の楽しみのために行っているのか。

（事務局）

小・中学生が放課後に社児童館に来て、ほっとしている姿が見受けられる。自分の楽しみのためや、勉強するため、または自分の居場所のために来ているのだと思う。

（委員）

平成２７年度１２月に、東条鯉こいランドの来館者数が増加しているのはなぜか。

（事務局）

１２月３日に子育てセミナーの親子ふれあいコンサートを開催し、子ども２１１人・大人１９３人の合計４０４人の参加があったためと考えている。

（委員）

かとう子育てねっとに関して、ケーブルテレビで紹介されていたのを見た。常に PR をしていくことが必要と思う。

（事務局）

PRに関して、７月の広報かとうに、かとう子育てねっとのお知らせを掲載した。また、登録しやすいように QR コードも合わせて掲載した。

（委員）

やしろこどものいえに設置した自動販売機は、７月の暑い時期の売り上げが好調のようだ。

（事務局）

設置当初は、保護者が子どもにジュースをせがまれて困るか心配したが、そのようなことは少ないようだ。

（委員）

ジュースの種類については、配慮があるか。

（事務局）

カフェインの入っていないお茶やトマトジュース等が、とりそろえてある。保護者が、子どもにいいものを選ばれて買っているようだ。

（委員）

平成２７年度児童館主要事業の振り返りについて、初めて開催された「大切にしよう！心と体」に参加させていただいた。性教育についてわかりやすい本をもってかえると、娘が本を開いて、絵と文章を読んで素直に理解できたようだ。

中学生の子どもを持つ親によると、性について話をすると恥ずかしさがあるって伝えにくいことがある。子どもが小さいうちに、このようなセミナーをしてもらおうと子どもが理解しやすいようだ。今後も続けてほしい。

(事務局)

性教育について、多くの母親が悩んでいるのが今回の開催でわかった。セミナー後、講師に相談に行かれる方がいた。特に男の子をお持ちの母親が、どうしたらよいか困らされていたようだ。セミナーに参加された親子は、家庭で性教育について話しやすくなったと聞いている。

講師がお医者さんから話を聞くような感じで話されていたので、参加した子どもは恥ずかしがることなく、聞き入れられたようだ。

(委員)

講師がおっしゃっていた中で、幼児が被害者になる性犯罪があるが、多くの子どもは何をされたのか理解できない。ただ、親に言ったら悲しむだろうからという理由で、話さないことが多いと聞いた。その罪悪感を払しょくしてあげることが先決で、子どもが小さいうちから話しておくことで、もし何かあったときに相談できるように、予め話しておくことが大事だと、おっしゃっていた。

議事（２）平成２８年度事業の実施計画について

事務局から説明後、質疑応答。

(委員)

星空観察は、今年も行われるのか。

(事務局)

今年も望遠鏡制作を行い、それで作った望遠鏡を使って星座を観察する予定だ。

(委員)

星空観察で、父親の参加はどうか。

(事務局)

夜間に行われることもあってか、参加されることが多いと感じている。

(委員)

清水寺登山では、父親の参加はあったか。

(事務局)

気合を入れて参加される父親の姿もあった。このイベントは、登りだけを予定して山頂のお寺にマイクロバスを用意していたが、父親は下山も歩いて行くという方がいた。子どもを連れて下山するという方も２・３組あった。

(委員)

高齢者と関わるイベントはあるか。

(事務局)

あまり、関わりをもてていないのが現状だ。

(委員)

老人会とつながりをもつのはどうか。

老人会の中での活動は、どこも活発にされている。地域によっては小学校とつながりをもって、昔遊びで３世代交流をしているところがある。

(事務局)

身近に老人会がないこともあって、どこに声かけをしたらよいか悩んでいる。

(委員)

加東市社会福祉協議会の事務局に、尋ねてみてはどうか。

老人会の中で、新しいことをしていこうという話があるので、協働できればと考えている。

(委員)

児童館のイベントも魅力だが、厚生員が研修等に参加してもらい、よりパワーアップしてもらったら心強く感じる。

(委員)

ある地区に健康バレーボールがあり、老人会の方々が子どもの面倒をみてくださる。子どもを持つ親も助かるが、お孫さんと同居されていない高齢の方々に喜ばれているようだ。

(事務局)

東条鯉こいランドは東条デイサービスセンターに交流したいと声をかけていたら、夏祭りへの参加要請があり、舞台に上がらせてもらうことになった。

(委員)

小学校のイベントで、平日でも父親が参加されることが多くなってきた。父親向けのイベントをするのも手だが、家族・夫婦での参加を募れば、来館されるのではないだろうか。

中学生や高校生は土・日曜日も部活で忙しいということもあるが、気軽に行けるようなイベントがあればよいと思う。

(事務局)

当初、性教育の話は対象を思春期である小学校高学年から高校生に向けてやろうと考えていたが、土・日曜日が部活で参加が難しいことがわかったので、幼少期対象に方向転換をした。

こちらが来てほしいと言っても、子どもたちが忙しくて身動きがとれない状況だ。かえっこバザールで中学生にボランティアに来てもらう際に、先生にお願いして部活の都合をつけてもらっている。

ボランティアをしている中学生は、小さな子どもたちの世話をよくしている。じゃんけんゲームでは、わざと負けて盛り上げている。

そんな関わりをもってほしいのだが、どうすれば小・中・高校生に魅力ある児童館ができるだろうか悩んでいる。

(委員)

よく中学生等が行く児童館の館長は、「中学生同士が、けんかするので困っている」と話していた。

(事務局)

数人の体の大きい中学生が児童館に遊びにいくと、活動量が違うので、小さい子が近くで遊ばない。しかし、中学生が思いっきり体を動かして、久しぶりに面白かったと言って、清々しく帰っていくのを見ると、彼らの居場所も必要だと思う。

(委員)

中学3年の2学期の部活が終わり高校受験を控えている時に、将来のことや進路の相

談ができる場所があればと思う。かつて通った小学校に、話をしに行く中学生がいる。

担任の先生にも相談しにくいと感じて、もやもやした思いをもった中学生の受け皿になるようなイベントを、児童館ができると良いと思う。

(事務局)

どのような文言で、中学生に呼びかけるとよいだろうか。

(委員)

自分は工業高校に行くべきか、普通科の高校に行くべきか。将来、加東市に居続けるのか、他の地域に住むのか。そんな不安があるのかなど、外部から見て感じる。

(委員)

中学生が発散できる機会と、集中できる機会の両方を児童館が提供できると良いと思う。

実際に、児童館に来た中学生に聞くのが良いかもしれない。

議事（3）その他

事務局から説明

(事務局)

現在、平成28年度南山活性化支援施設（仮称）整備事業で、加東市南山一丁目4番2の一部の土地を利用して、工事受注者の積水ハウス株式会社福知山支店により、複合施設の建設を進めている。

施設機能の内、子育て支援機能について東条鯉こいランドが移設される。

続いて、社児童館やしろこどものいえ塗装工事は、7月25日から8月31日までの工期で予定している。また、遊具の補修工事を行う。

(委員)

地理的に道の駅の近くということで、交通量が多いと聞く。また、インターチェンジから不特定多数の人の出入りがあるため、自分たちでやってくる小・中・高校生の安全面に気を配る必要があると思う。

(事務局)

おっしゃるように小・中・高校生を呼び込むには、できた当初から呼び込みをしておく必要があるかもしれない。移設前の東条鯉こいランドのイメージで、母親と乳幼児向けの施設ととられかねない。

(委員)

これから地区の年齢層が上がってくるので、それに対応できる施設でないといけない。何期か工事があって、新しい人が町に入って新陳代謝があれば良いと思う。学生が勉強できるスペース等があると良いかもしれない。安全管理も必要だ。

(事務局)

スペースというと、地域の人が使えるような会議室と、子育て支援スペースができる予定だ。

(委員)

管理は、どのようなになるのか。

(事務局)

これから商工観光課と、話し合いを進める。

(委員)

南山にはいくつか店舗があって、そのあたりを小さい子どもだけで歩いている姿が見受けられる。その子たちが集まる場所になれば、年齢が上がっても利用してもらえるようになると思う。

【閉会】

・あいさつ（子育て支援課長）

4 配付資料

資料①- 1…児童館来館者数（平成22～27年度）

資料①- 2…児童館来館者数（平成22～27年度）グラフ

資料①- 3…児童館来館者数（前年度との比較）

資料①- 4…児童館来館者数（前年度との比較）グラフ

資料①- 5…児童館来館者の内訳

資料①- 6…児童館来館者の内訳グラフ

資料②…「かとう子育てねっと」運営状況

資料③…自動販売機販売手数料収入

資料④…平成27年度児童館主要事業等スケジュール

資料⑤…平成28年度児童館運営方針

資料⑥…平成28年度児童館主要事業等スケジュール

資料⑦…平成28年度児童館年間活動計画表

資料⑧…平成28年度親子サークル募集状況

平成28年 7月29日

委員長

鈴木正敏

